

社会福祉法人サンフレンズにおけるボランティアの受け入れに関する方針（2008年度策定）

前文

ボランティア活動は、個人の自発的な意思から始まる活動ですが、活動者個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、その活動の広がりによって環境、教育、福祉等への関心が高まり、その結果として、人と人が共に支え合い、交流する地域社会づくりが進むなど、大きな意義と可能性を持っています。

私たち社会福祉法人サンフレンズは、高齢社会の到来に備え、「豊かな老後は自分たちの活動から築いていこう」という地域住民のボランティア活動から始まった団体です。高齢社会の主役である高齢者は、たとえいくらかの介護が必要な状態になったとしても、まだまだ多くの残存能力を有し、バイタリティー（生命力）に溢れ、そして人とのふれあいを大切にしていきたいと望んでいます。しかしながら、介護が必要な状態になると必然的に人との交流の機会が減ってきてしまいます。そんな方々にとってのボランティアとの交流は、人間関係や活動の幅を維持すること、生活意欲や生活の質の向上につながっていくものであると、私たちは信じています。

私たちが、杉並区内の複数箇所で高齢者介護事業を展開できるようになった今、サンフレンズのそれぞれの事業所には、高齢者の日常生活を維持していくための援助の他に、地域住民のボランティア活動への理解を深め、参加を促進するための拠点として、また人と人のふれあいの場・交流の場としての社会的役割があると考えます。この役割に積極的に応えていくため、ここにボランティアの受け入れに関する方針を明らかにし、その方法・態勢などの整備に努めてまいります。

基本方針

- ①私たちは、地域と共に歩む法人として、ボランティア活動を積極的に受け入れ、地域住民の福祉に対する関心・理解の拡がりに力を尽くします。
- ②私たちは、ボランティア活動の受け入れにあたって、活動者の意思・目的を尊重します。活動開始時や活動中の相談にてその意思をしっかりと受け止め、目的に沿った具体的な活動ができるよう援助します。
- ③私たちは、ボランティア活動に対し、ボランティアと利用者の温かい心のふれあい、それに伴うボランティアの自己実現への欲求や社会参加意欲の充足、および利用者の生活意欲や生活の質の向上に期待をします。介護サービスの代替・補填を求めるものではありません。
- ④私たちは、ボランティアの受け入れに際して、活動者・利用者・事業所の三者に心の潤いと喜びが感じられ、三者の人間関係や活動の幅が広がるように援助し、その相乗効果を三者および地域社会に拡げていきます。
- ⑤私たちは、すべての職員がこの基本方針を理解し、すべての事業所がボランティア活動を有意義に受け入れることができる態勢をつくりまします。